

# 達者です ④8

## まだまだ元気です

竹内 ハナ子さん

89歳 (新屋敷町区)

「ノートが買えないから号外の紙をたくさんもらってノート代わりにした。苦勞しましたよ。」という。話の随所に「親はありがたいものですねー。親に感謝する気持ちがあったら絶対にけんかなんかしませんよ」と話す。

今の楽しみは「妹たちと夕食をすることと月1回の詩吟の稽古。今度、地区芸能発表会に仲間と出るんです」と嬉しそう。「お元気です」とまた聞くと「元気です」と帰ってきた。健康の秘訣はくよくよせず気持ちを大きく持つことだけだという。

「人が喜んでくれることが一番嬉しい。みんなの喜びが集まって私の身体をつくってくれています」と言われた言葉が印象に残る。

# わくわく ひろば

市民の皆さんのページです  
あなたの情報で、ひろばは  
さらにイキイキ ☎ 231117

エンジンヨイ

## 仲間達

④5



戸村 豊 さん  
(湯町区)

異次元の世界まで

〜長門川柳会〜

市内には短歌俳句の団体は古くからあったが、川柳をやる人は少なく団体の発足までには至らなかった。8年前に10名で発足した本会は、その後加入者のないまま推移している。

平均年齢73歳余。長命社会を先取りした会員構成となつているが、全員すこぶる元気。



「その時と諦観しつつ、脳内革命のない駄作づくりを楽しもう。」

まあ時には足腰が痛い、目がかすむと言いなながらも、へらす口だけはぶち達者。  
例会：毎月第2日曜日 午前10時〜12時

場所：中央公民館  
年会費：2千円 仲間募集中。

遠からず異次元の世界からお

③8

# ちよっと小耳にはさんだ

新人二人が初舞台

## 俵山女歌舞伎



桐木弘美さん (湯町区)  
藤井和代さん (湯町区)

4月22日、俵山温泉まつりで、

県指定無形民俗文化財「俵山女歌舞伎」が奉納されました。

上演したのは、桐木弘美さんと藤井和代さんの二人。昨年5月から練習を重ねてきた「三番叟(二人三番)」を披露しました。

桐木さんは俵山女歌舞伎の座長をつとめる三木さんの娘、「小学生の頃、子役として舞台上に上がっていました。それ以降は何も。興味は持っていませんが、藤井さんが一緒にやってくれるということ、本格的に取り組むようになりました。かつら苑、福祥苑でも披露させてもらったのですが、なかなかうまくでき

ませんね。まだまだひよこです」

藤井さんは「子どもの頃、日本舞踊をしていたので軽い気持ちで引き受けました。嫁に来てまつりで見てはいましたが、まさか自分が踊ることになるとは。週2回、夏場は毎日の練習でしたが楽しくできました。同級生に「女歌舞伎の藤井さん」と言われたんですよ」

「これまで俵山女歌舞伎を支えてこられた方々のご支援があつてこそ舞台上に立てるんです。これからも、伝統という言葉あまり重荷にすることなく、楽しく踊っていききたいですね」と二人は話してくれました。



熊野神社での「三番叟」